

470MHz 500MHz 550MHz 600MHz 650MHz 700MHz 710MHz 714MHz 806MHz 810MHz

SHURE

LEGENDARY
PERFORMANCE™



AXT DIGITAL INTEGRITY YOU CAN HEAR.



2018年11月版

AXT DIGITAL 始めの一音で伝わる感動

AXT DIGITAL は複雑かつ過密な現代のワイヤレス環境で、
 確実なマイクロホン運用を実現すべく開発された次世代のデジタル・ワイヤレス・システムです。
 電波を強さだけでなく質で判断し、的確に受信状態を確認できるチャンネル・クオリティー・メーター、
 6MHz の TV チャンネル 1 つで 47ch もの多チャンネル運用を実現するハイデンシティモード、
 4 本のアンテナで運用エリアを飛躍的に拡大する Quadversity™ (クワッドバーシティ) など
 次世代のデジタル・ワイヤレスの名に相応しい先進的な機能を有しています。
 今後も絶えず変化するワイヤレス環境。
 AXT DIGITAL は現代、そして将来の課題にも対処する革新のデジタル・ワイヤレスです。

■従来のワイヤレスを凌駕する比類のない RF 安定性

- 従来の RF メーターだけではなく、電波の質を判断して的確に受信状態を確認できるチャンネル・クオリティー・メーターを搭載。電波の強弱のみで判断していた従来の方式と異なり、データを確実に受信できているかを判断できるため、受信環境を高い精度で監視可能。
- 送受信機でのレジストレーションを行うことで同じモデルの送信機であっても登録した個体のみを識別し、その他の送信機からの妨害波を回避。
- チャンネル・クオリティーに基づく独自のアルゴリズムで RF 信号を合成するトゥルー・デジタル・ダイバーシティを採用。マルチパス干渉などの電波障害への耐性を向上。
- 4 本のアンテナを 1 つのチャンネルに割り当て、運用エリアの拡大やゾーニングを行える Quadversity 機能を新たに採用 (4ch 受信機 AD4Q のみ)。あらゆる電波干渉を回避し、安定性を飛躍的に強化。
- 送信機側の送信出力を抑え、運用帯域内の同時使用可能チャンネル数を増大する HD (ハイデンシティ) モードを搭載。従来のワイヤレスとほぼ同等の到達距離を維持しながら、音質を犠牲にせず 6MHz で 47ch もの同時運用を行えるため、使える帯域の限られた会場でも十分なチャンネル数を確保。



チャンネルクオリティー・メーター



■現在、そして未来まで継続して運用できる安心の拡張性

- 受信機は 470 ~ 636MHz、606 ~ 810MHz に対応した 2 モデルでホワイトスペース帯、ワイヤレス・マイクロホン専用帯、B 帯の全帯域をカバーし、送信機は 470 ~ 636MHz、606 ~ 714MHz のホワイトスペース帯、専用帯に対応した 2 モデルと 806 ~ 810MHz の B 帯専用モデルの計 3 モデルで全帯域を網羅。従来のモデルに比べて圧倒的に機材量を減らせるため、シンプルな機材管理を実現。
- スタンダードモデルの AD 送信機、ハイエンドモデルの ADX 送信機とも受信機は共通のため、アップグレードもコストを最小限に抑えて実施可能。
- 既存のスペクトラムマネージャー AXT600J、ワイヤレス・アクセスポイント AXT610J やアンテナ等の機器も互換性があるため、AXT アナログワイヤレスの機材を最新の AXT DIGITAL システムに流用可能。

■各モデルの特徴

型番	AD1	ADX1	ADX1M	AD2	ADX2	ADX2FD
送信機種類	ポディーバック型			ハンドヘルド型		
コネクター	TA4M / LEMO		LEMO	—		
アンテナタイプ	1/4波長アンテナ		内蔵型ヘリカル	一体型ヘリカル		
対応帯域 (MHz)	G56 470~636MHz					
	K56 606~714MHz					
	JB 806-810					
送信機出力 (mW)	G56	2/10/35	2/10/40	2/10/20	2/10/35	2/10/40
	K56					2/10/50 (シングル)
	JB	2/10				20x2 (FD)
運用可能 Ch 数 (通常モード/HDモード)	G56 17ch/47ch@ 6MHz					
	K56 10ch/30ch					
	JB —					
運用時間@10mW	SB900A:最大9時間 アルカリ乾電池:最大8時間	SB910:最大10時間	SB910M:最大7時間	SB900A:最大9時間 アルカリ乾電池:最大8時間	SB920:最大9時間	SB920: 最大9時間(シングル) 最大6.5時間(FDモード)
バッテリー	単三乾電池、又は SB900A	専用充電電池 (SB910)	専用充電電池 (SB910M)	単三乾電池、又は SB900A	専用充電電池 (SB920)	専用充電電池 (SMB920)
周波数ダイバーシティ	△*1			—		
送信機リモートコントロール (2.4GHz, Zigbee Dual準拠)	—			○		
自動干渉回避	—			○		
寸法 (H×W×D mm, 除突起)	86×66×23	91×68×19	60×68×18	H256×Φ51*2	H254×Φ51*2	H256×Φ51*2
質量 (g, 含充電電池*3)	186	170	84	385*2	391*2	391*2

*1 ポディーバック型送信機を2台用意し、Yケーブルで接続する必要があります。 *2 装着するマイクヘッドにより異なります。表内はSM58装着時の数値を記載しています。

*3 専用充電電池またはSB900Aを装着した状態の質量を記載しています。

■世界で支持される Shure クォリティーの音響品質

- ・極めてフラットな周波数特性に加え、120dB 以上のダイナミックレンジ、原音に忠実な音響特性を実現し、ワイヤレスながらワイヤードマイクロホンに匹敵する音響品質を実現。
- ・スタンダードモード時のシステム全体のレイテンシーは 2ms のみ。厳しいプロフェッショナルの要求に応える優れた遅延性能を獲得。
- ・音声は XLR/ フォーンのアナログ出力のほか、96/48kHz のサンプリングレートに対応した AES3/AES67 デジタル出力、Dante デジタルオーディオを取り出せる 4 系統のイーサネットポートを用意。
- ・4 系統のイーサネットポートは Dante デジタルオーディオとネットワーク制御を分離 / 混合できるほか、Dante のリダンダントにも対応。
- ・ワイヤレス伝送は AES256bit 規格による暗号化に対応し、極めて秘匿性の高いワイヤレス運用を実現。

■多様な運用シーンに最適化する多彩なコントロールオプション

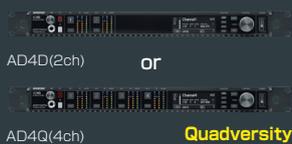
- ・既存の Shure ワイヤレスにも対応した周波数管理ソフトウェア Wireless Workbench 6 での周波数管理を実現。ワイヤレスネットワーク上の全ての機材を統合した周波数選定から受信機設定、RF モニタリングなどワイヤレス運用に関わる全ての項目の一元管理が可能。
- ・ネットワーク上の AXT DIGITAL の受信チャンネルを 1 つの受信機のヘッドホン出力から手軽に検聴できる Dante Cue 機能、全ての Dante ネットワーク機器のモニタリングを行える Dante Browse 機能など、システム構築を迅速に行える新機能を導入。
- ・送信機は全て専用のリチウムイオン充電電池で駆動。運用中の電池残量の確認から充電中の充電状況の確認まで全てネットワーク経由でモニタリングできるため、スマートな電池管理が可能。



AXT DIGITAL SYSTEMS

両シリーズ共通の受信機

2ch、4ch の 2 モデルを用意
4chモデルは受信を2chに限定し、4本のアンテナで運用を行うQuadversityモードを搭載



周波数管理プロセッサ



アクセスポイント



干渉の検出と回避
(ADX シリーズ)

AD シリーズ送信機

AXT DIGITAL のスタンダードモデル
プロフェッショナルの高い要求に応える先進のデジタル・ワイヤレス



ADX シリーズ送信機

AXT DIGITAL のハイエンドモデル
電波干渉が起きると同時にバックアップ周波数に運用を自動的に切り替える干渉の検出 / 回避機能を備えたハイエンドモデル。さらに ADX2FD は 2 つの電波を同時に出力することで干渉のリスクを最小限に抑える周波数ダイバーシティ機能を搭載。



アンテナ・ネットワーク関連



AD/ADX の両シリーズに対応する ツールー・デジタル・ダイバーシティ受信機

AD4 オープンプライス

2チャンネルモデル

AD4DJ-A AD4DJ-B

4チャンネルモデル

AD4QJ-A AD4QJ-B



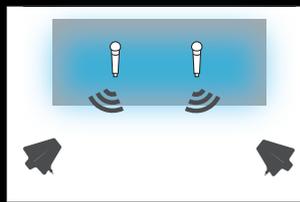
モデル名末尾	-A	-B
対応周波数	470-636MHz(WS 帯)	606-714MHz(WS 帯、専用帯) + 806-810MHz(B 型)

※WS帯、専用帯を使用する際は免許が必要です。免許申請に関しては特定ラジオマイク運用調整機構のホームページをご覧ください。

- WS 帯、専用帯、B 型の全ての周波数を 2 モデルのみでカバー。従来モデルに比べて圧倒的に少ない機材で日本全国に対応可能。
- ツールー・デジタル・ダイバーシティ方式で受信するため、マルチパス干渉やフェージングなどの RF 障害に対して圧倒的な耐性を獲得。
- RF レベルの強弱だけでなく、受信の質を監視するチャンネル・クオリティ・メーターを搭載し、受信状況の的確なモニタリングが可能。
- AD4Q は Quadversity 機能を搭載。受信を 2ch に制限し、4 本のアンテナを 1 つのチャンネルに割り当てることで運用距離の拡大やゾーニングが可能。
- AD4D は AES3 デジタル出力端子を独立して用意。AD4Q は XLR と AES3 の切替スイッチを装備し、アナログ出力だけでなく Dante、AES3、AES67 のデジタル出力に対応。
- 4つのイーサネットポートを装備し、Danteネットワークとネットワークコントロールの設定が可能。Danteネットワークのリダundantにも対応。
- 電源トラブル時、リダundant用 DC電源にシームレスに切り替える DC電源入力搭載モデル AD4DJ-DC、AD4QJ-DCモデルも用意。
- Dante ネットワーク内の機器をモニタリングする Dante Browse 機能のほか、ネットワーク内全ての AXT DIGITAL 受信機の検聴を簡単に行える Dante Cue 機能を搭載。

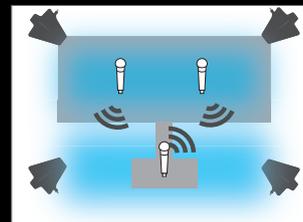
圧倒的な RF 安定性を生み出す Quadversity

従来のダイバーシティ受信はAとB、2つのアンテナ受信を行い、より受信感度の高いアンテナ側のみで受信を行うスイッチング・ダイバーシティと、AとB両方の受信を監視しながら良い受信を合成して受信するツールー・ダイバーシティの2つがあります。スイッチング・ダイバーシティの場合、壁面で反射した複数の電波(マルチパス)や反射することによって位相がずれた電波(フェージング)などの問題により干渉が発生し、良好な結果が得られない場合があります。Quadversityはチャンネルクオリティをベースにした独自のアルゴリズムを基に、デジタルによるツールー・ダイバーシティ方式を採用。A/B 2本のアンテナだけでなく4本のアンテナで受信を行うため、ステージ上をA/Bのアンテナで狙うだけでなく、さらにC/Dのアンテナでせり出し(スラスト)ステージ側にアンテナを向ける、会場外でのパフォーマンスも受信するなど、受信の安定性を高めるだけでなくパフォーマンスの幅も広がります。



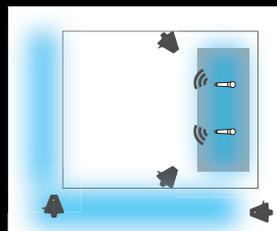
従来のダイバーシティ

ステージのみを A/B 2本のアンテナで受信



Quadversity によるスラストステージ

A/B アンテナでステージ上を、C/D アンテナでせり出しステージ上を受信



Quadversity による会場外パフォーマンス

C/D アンテナを控室からステージまでの導線やロビーに設置することで会場外のエリアもパフォーマンス・スペースとして運用

オプション

アンテナ・ブースター

■ UA834WB
46,440 円 (税抜 43,000 円)



アクティブ指向性アンテナ

■ UA874WB
92,880 円 (税抜 86,000 円)



パッシブ指向性アンテナ

■ PA805SWB
81,000 円 (税抜 75,000 円)



ヘリカル指向性アンテナ

■ HA-8089
140,400 円 (税抜 130,000 円)



パッシブ無指向性アンテナ

■ UA860SWB
79,920 円 (税抜 74,000 円)



壁/天井取付型白アンテナ

■ UA864
73,440 円 (税抜 68,000 円)



※運用する周波数帯域ごとにモデル名末尾が異なります。

インライン・パワーサプライ

■ UABIAS-T
18,360 円 (税抜 17,000 円)



1/2 波長アンテナ

■ UA8
10,368 円 (税抜 9,600 円)



※運用する周波数帯域ごとにモデル名末尾が異なります。

リモート・マウント・アンテナキット

■ UA505
6,048 円 (税抜 5,600 円)



パッシブ・アンテナ分配キット

■ UA221
38,880 円 (税抜 36,000 円)



AD Series

- 120dB を超えるダイナミックレンジを誇る優れた音響性能に加え、システム全体でわずか 2ms の低レイテンシー性能。
- AES256bit による暗号化に対応し、秘匿性の高い音声伝送を実現。
- 2/10/35mW の出力パワーの切り替えが可能。2mW のハイデンシティーモードを使用すれば (レイテンシー:2.9ms)、TV チャンネル 1 つ (6MHz) で 47ch の多チャンネル運用を実現し、帯域が限られた地域でも十分なチャンネルを運用可能。
- トーンジェネレーターとドロップマーカを内蔵し、任意の地点でトーン出力やマーキングができるため、ドロップポイントの洗い出しに便利。
- 単 3 形アルカリ乾電池 × 2 個で約 8 時間の駆動が可能。Shure 製 SB900A リチウムイオン充電電池を使用すれば約 9 時間の長時間駆動を実現。
- SB900A 充電電池を使用している場合、接続した受信機または Wireless Workbench 6 上で充電電池の残時間を正確に把握できるため、突発的な電池切れを回避。

モデル名末尾	-G56	-K56	-JB
対応周波数	470-636MHz(WS帯)	606-714MHz(WS帯、専用帯)	806-810MHz(B型)

※WS帯、専用帯を使用する際は免許が必要です。免許申請に関しては特定ラジオマイク運用調整機構のホームページをご覧ください。

定評ある6つのマイクヘッドを用意したAXT DIGITAL ハンドヘルド型送信機のスタンダードモデル

AD2 オープンブライス

- | | |
|--|---|
| ① AD2/K9N-XX
KSM9 マイクヘッド (ニッケル) | ⑥ AD2/K8B-XX
KSM8 マイクヘッド (黒) |
| ② AD2/K9HSN-XX
KSM9マイクヘッド(ニッケル)、高感度モデル | ⑦ AD2/B58-XX
BETA 58A マイクヘッド (黒) |
| ③ AD2/K9B-XX
KSM9 マイクヘッド (黒) | ⑧ AD2/B87A-XX
BETA 87A マイクヘッド (黒) |
| ④ AD2/H9HSB-XX
KSM9マイクヘッド(黒)、高感度モデル | ⑨ AD2/B87C-XX
BETA 87C マイクヘッド (黒) |
| ⑤ AD2/K8N-XX
KSM8 マイクヘッド (ニッケル) | ⑩ AD2/SM58-XX
SM58 マイクヘッド (黒) |



優れた音響性能に剛性と軽量化を施したボディーパック型送信機

AD1 オープンブライス

- | | |
|--------------------|-------------|
| AD1-XX | TA4M コネクター |
| AD1LEM03-XX | LEM03 コネクター |

- 2台のAD1を使用すれば、1つの音声を2つの独立した周波数で伝送する周波数ダイバーシティ機能を利用可能。
- TA4MとLEM03コネクターを選択できる2モデルを用意。



AD2 オプション

- | | | |
|---|---|--|
| マイクホルダー
WA371
3,672円 (税抜 3,400円) | AD2用識別カラーキャップ
WA617M
オープンブライス
●色: 黒、青、緑、赤、白、黄 | ハンドヘルド型送信機用ミュートスイッチユニット
UAMS
41,040円 (税抜 38,000円)
マイクヘッドと送信機本体の間に装着。
●色: 黒 (BK) |
| AD2用バッテリーコンタクトカバー
WA618
オープンブライス | | |

AD1 オプション

- | | | | |
|--|--|---|---|
| Yケーブル
AXT652
オープンブライス
●周波数ダイバーシティ機能の利用時に使用
●コネクター: TA4M | Yケーブル
AXT652LEM03
オープンブライス
●周波数ダイバーシティ機能の利用時に使用
●コネクター: LEM03 | 接続ケーブル
WA302
4,320円 (税抜 4,000円)
●ケーブル長: 0.76m
●コネクター: TA4M (送信機側) →標準プラグ | 接続ケーブル
WA304
4,968円 (税抜 4,800円)
●ケーブル長: 0.65m
●コネクター: TA4M (送信機側) →L字標準プラグ |
| ボディーパック型送信機用ミュートスイッチユニット
WA661
オープンブライス
●TA4F (マイク側) × 1、TA4M (送信機側) × 1 | ボディーパック型送信機用ミュートスイッチユニット
WA662
オープンブライス
●周波数ダイバーシティ機能運用時に使用。
●TA4F (マイク側) × 1、TA4M (送信機側) × 2 | ■その他、多彩なハンドヘルド送信機用マイクヘッドやボディーパック型送信機用マイクロホンやミュートスイッチを用意しています。 | |

送信機のリモートコントロールShowLinkに対応。干渉の検出と自動回避を実現するハイエンドモデル

ADX Series

- AD Seriesの基本機能に加えて、干渉の検出と自動回避機能など電波干渉のリスクを極限まで抑えたフラッグシップモデル。
- スペクトラムマネージャー AXT600Jと ShowLinkアクセスポイント AD610Jを使用することで電波干渉出時、AXT600Jが会場を常時スキャンングして選定したバックアップ周波数を送信機側に送信。即座に運用周波数を切り替えることで音切れなく安全な周波数に設定変更することが可能。
- 接続した受信機や Wireless Workbench 6 上で専用充電電池の残時間を正確に把握できるため、突発的な電池切れを回避。

● ADX2FD の追加機能

- 1つの音声を2つの独立した周波数で送受信する周波数ダイバーシティ機能を搭載。失敗の許されないシビアな現場を強力にサポート。
- 50mWの高出力モードを用意。1つの周波数を高電力で駆動することで運用距離を飛躍的に増大することが可能。

● 周波数ダイバーシティ

機能をONにすると送信機は2つの周波数に同時に発信し、受信機は常に両周波数の信号品質を分析して、最良の受信品質になるように受信状況を調整します。運用している周波数にRF干渉が発生し、音声が断絶する状況が生まれた場合は、ドロップアウトやノイズを発生することなくシームレスにもう一方の周波数に運用を切り替えます。

※1つの筐体に2つの送信装置を備えた容易に分離できない構造となっている特定ラジオマイクの無線局免許単位は、無線局免許手続規則第2条第9項の適用に基づき、1局として扱われます。そのため、ADX2FDは1局としての申請で問題ありません。

RF 干渉に対する耐性を極限まで高めたハイエンド・ハンドヘルド型送信機

ADX2 オープンブライス

ADX2FD オープンブライス

ADX2/K9N-XX
KSM9マイクヘッド(ニッケル)

ADX2FD/K9N-XX
KSM9マイクヘッド(ニッケル)

ADX2/K9HSN-XX
KSM9マイクヘッド(ニッケル)、高感度モデル

ADX2FD/K9HSN-XX
KSM9マイクヘッド(ニッケル)、高感度モデル

ADX2/K9B-XX
KSM9マイクヘッド(黒)

ADX2FD/K9B-XX
KSM9マイクヘッド(黒)

ADX2/H9HSB-XX
KSM9マイクヘッド(黒)、高感度モデル

ADX2FD/H9HSB-XX
KSM9マイクヘッド(黒)、高感度モデル

ADX2/K8N-XX
KSM8マイクヘッド(ニッケル)

ADX2FD/K8N-XX
KSM8マイクヘッド(ニッケル)

ADX2/K8B-XX
KSM8マイクヘッド(黒)

ADX2FD/K8B-XX
KSM8マイクヘッド(黒)

ADX2/B58-XX
BETA 58Aマイクヘッド(黒)

ADX2FD/B58-XX
BETA 58Aマイクヘッド(黒)

ADX2/B87A-XX
BETA 87Aマイクヘッド(黒)

ADX2FD/B87A-XX
BETA 87Aマイクヘッド(黒)

ADX2/B87C-XX
BETA 87Cマイクヘッド(黒)

ADX2FD/B87C-XX
BETA 87Cマイクヘッド(黒)

ADX2/SM58-XX
SM58マイクヘッド(黒)

ADX2FD/SM58-XX
SM58マイクヘッド(黒)



※モデル名末尾の対応周波数はAD2と同様です。P.5の対応周波数表を参照してください。

※WS帯、専用帯を使用する際は免許が必要です。免許申請に関しては特定ラジオマイク運用調整機構のホームページをご覧ください。

■ 耐久性と耐湿性に優れた軽量メタル製ボディーを採用。

■ 専用の充電電池を使用することで AD2 よりも細身なボディーを実現。SB920 専用充電電池を使用して ADX2 は最大 9 時間、ADX2FD は周波数ダイバーシティ機能を使用しても最大 6.5 時間の連続運用 (10mW 時) が可能。充電用外部接点を採用しているため、オプションの充電器を使うことで電池を取り外すことなくドッキング充電が可能。

■ ADX2/ADXFD オプション



充電電池
■ SB920
オープンブライス
● ADX2/ADX2FD 用リチウムイオン充電電池



ADX2 送信機用トークスイッチ
■ AD651B (黒)
オープンブライス
● AD610J と組み合わせるワイヤレス仕様
のトークスイッチ



ADX 送信機用トークスイッチ
■ AD651FOB
オープンブライス
● AD610J と組み合わせるワイヤレス仕様
のトークスイッチ

■ その他、多彩なハンドヘルド送信機用マイクヘッドを用意しています。

ShowLink など多彩な機能を内蔵しながらさらなる薄型化を実現したボディーパック型送信機

ADX1 オープンブライス



- ADX1-XX** TA4M コネクター
- ADX1LEMO3-XX** LEMO3 コネクター

※モデル名末尾の対応周波数はAD2と同様です。P.5の対応周波数表を参照してください。
 ※WS帯、専用帯を使用する際は免許が必要です。免許申請に関しては特定ラジオマイク運用調整機構のホームページをご覧ください。

- 耐久性と耐湿性に優れたマグネシウム製ボディーを採用し、薄型の筐体ながら高レベルの防水性を獲得。
- 専用の充電電池を使用することでAD1よりも薄型なボディーを実現。SB910専用充電電池を使用して最大10時間の連続運用(10mW時)が可能。充電用外部接点を採用しているため、オプションの充電器を使うことで電池を取り外すことなくドッキング充電が可能。

■ **ADX1 オプション**



充電電池
■ SB910
 オープンブライス
 ● ADX1用リチウムイオン充電電池



ADX送信機用トルクスイッチ
■ AD651FOB
 オープンブライス
 ● AD610Jと組み合わせて使用するワイヤレス仕様のトルクスイッチ

■ その他、多彩なボディーパック型送信機用マイクロホンや接続ケーブル(P.5参照)、ミュートスイッチを用いています。

仕込用ボディーパックとしてのあらゆる要求を解決するマイクロボディーパック型送信機

ADX1M オープンブライス



- ADX1M-XX** LEMO3コネクター

※モデル名末尾の対応周波数はAD2と同様です。P.5の対応周波数表を参照してください。
 ※WS帯、専用帯を使用する際は免許が必要です。免許申請に関しては特定ラジオマイク運用調整機構のホームページをご覧ください。

- アンテナが内蔵され、角のない筐体はカツラの中や服の中などどんな場所にも自然に仕込む事が可能。
- 内蔵アンテナには革新的なセルフチューニング機能を搭載。電波の出力状況をモニタリングし、最適な出力に調整するため、厚手の服の中などでも優れた伝達性を保持。
- 汗や水分の侵入を防止する筐体やLEMO3コネクターを採用することで、ADX1を遥かに超える防水性能を獲得。
- ボディーには耐熱性と耐久性に優れたUltem®樹脂を採用。長時間肌に密着させても温度変化がほとんどないため、ストレスのないパフォーマンスを保証。
- 専用の充電電池 SB910Mを使用することで高い防水性を獲得しながら最大7時間の連続運用(10mW時)が可能。

■ **ADX1M オプション**



充電電池
■ SB910M
 オープンブライス
 ● ADX1M用リチウムイオン充電電池



ADX送信機用トルクスイッチ
■ AD651FOB
 オープンブライス
 ● AD610Jと組み合わせて使用するワイヤレス仕様のトルクスイッチ

会場内の周波数を常時モニタリングし、最適なバックアップ周波数を導くスペクトラムマネージャー

AXT600J オープンブライス



- スキャン結果に基づいた互換周波数をリスト化し、分析。リストは液晶ディスプレイまたはWireless Workbench 6上で表示、編集が可能。
- 470 ~ 952MHzの極めて広帯域のスキャンングを行えるため、日本国内のワイヤレスマイクの帯域全てを1台で対応。
- AXT600Jからの周波数変更や機器の制御動作を記録したイベントログを作成可能。
- 互換周波数を分析し、信号クオリティーの高い順にバックアップ周波数をランク付け。アクセスポイントAD610Jを接続すれば干渉の発生時、ADX送信機の運用周波数を自動的に変更して干渉を回避するため、音切れのリスクを圧倒的に抑えたワイヤレス運用を実現。
- 2系統のイーサネットポートの内、1系統はPoE(Power over Ethernet)を搭載しているため、AD610JやClass-1イーサネット機器への電力供給も可能。

送信機の運用周波数変更などをリモートで制御する ShowLink ダイバーシティ・アクセスポイント



AD610J オープンプライス

- 送信機の運用周波数、ゲイン調整、RF ミュート、RF 出力パワー調整など様々な設定を送信機に触れることなくリモートで制御するアクセスポイント。
- 制御は受信機や AXT600J、接続した Wireless Workbench 6 上で実行。2.4GHz 周波数帯を独立してスキャンし、最適なチャンネルで制御信号を送出。
- 1 台で最大 16 個の送信機をリモートコントロール可能。AD610J を追加することでリモート数を簡単に増設可能。
- トゥルー・デジタル・ダイバーシティによる安定した送受信を実現。

■充電システム

ネットワーク経由で充電状況を確認可能なラックマウント型充電ステーション

SBRC-J

オープンプライス



■充電は 2 系統ごとのモジュール形式となっており、運用する送信機のタイプに合わせて自由に構成が可能。最大 4 つのモジュールを装着でき、8 個の充電電池の充電を一括で実行。



■液晶ディスプレイまたは Wireless Workbench 6 上で詳細な充電状況をモニタリング可能。

■充電の残時間、充電回数、バッテリーヘルス (初期状態から比較したバッテリーの容量率) など非常に詳しいバッテリー状態の把握が可能。

■1 時間で 50% の急速充電、3 時間でフル充電が可能。

■モジュール



SB900A 用充電モジュール

■ SBC-AX

27,000 円 (税抜 25,000 円)

- AD Series 送信機用の SB900A を 2 個同時に充電可能。

SB910 用充電モジュール

■ SBM910

オープンプライス

- ADX1 ボディーパック型送信機用充電電池 SB910 を 2 個同時に充電可能。

SB920 用充電モジュール

■ SBM920

オープンプライス

- ADX2/ADX2FD ハンドヘルド送信機用充電電池 SB920 を 2 個同時に充電可能。

SB910M 用充電モジュール

■ SBM910M

オープンプライス

- ADX1M ボディーパック型送信機用充電電池 SB910M を 2 個同時に充電可能。

■ AD Series 送信機用充電システム



■ SBC200-J 54,000 円 (税抜 50,000 円)

■ SBC200 43,200 円 (税抜 40,000 円)

- SB900A を 2 つ同時に充電できるほか、AD1、AD2 をそのまま差し込んで充電できる 2 ポート受信機。
- SBC200 は電源アダプターを付属しないドッキング専用モデル。
- SBC200-J は SBC200 をさらに 3 台ドッキングできるため、最大 8 個の充電電池または AD1、AD2 を 1 つの電源で運用可能。



■ SBC220-J 64,800 円 (税抜 60,000 円)

■ SBC220 54,000 円 (税抜 50,000 円)

- SBC220 にネットワークポートを追加し、接続した PC 上で充電ステータスをモニタリングできる 2 ポート充電器。



■ SBC800 86,400 円 (税抜 80,000 円)

- 最大 8 個の専用充電電池 SB900A を同時充電可能な充電器。



■ SBC100-J 12,960 円 (税抜 12,000 円)

- SB900A を 1 台充電可能な充電器。
- AC 電源からの充電のほか、USB ポートからの給電も可能。



■ SBC-DC 18,360 円 (税抜 17,000 円)

- SB900A 充電電池を使用せず、AC 電源から直接電源を供給するアダプター。



■ SBC210-J 73,440 円 (68,000 円)

- 最大 2 つの SB900A を同時に充電できるコンパクトな充電器。
- ケースを取り外せば SBRC 用のモジュールとしても使用可能。

■ ADX Series 送信機用充電システム



■ SBC240-J

オープンプライス

■ SBC240

オープンプライス

- ADX1 または ADX2/ADX2FD を 2 台充電できる充電器。SB910、SB920 のみでも充電可能。SBC240-J は SBC240 を 3 台ドッキングでき、最大 4 台を 1 つの電源で運用可能。
- SBC240 は電源アダプターを付属しないドッキング専用モデル。
- イーサネットポートを搭載しており、Wireless Workbench 6 でネットワーク経由で充電状況のモニタリングが可能。



■ SBC840

オープンプライス

- SB910、SB920 を 8 個同時に充電可能。1 時間で 50% の急速充電、3 時間でフル充電を完了。

- イーサネットポートを搭載しており、ネットワークに接続した Wireless Workbench 6 上で充電状況のモニタリングが可能。



■ SBC840M

オープンプライス

- SB910M を 8 個同時に充電可能。1 時間で 50% の急速充電、3 時間でフル充電を完了。

- イーサネットポートを搭載しており、ネットワークに接続した Wireless Workbench 6 上で充電状況のモニタリングが可能。

SHURE
LEGENDARY
PERFORMANCE™

United States, Canada, Latin America, Caribbean:
Shure Incorporated, 5800 West Touhy Ave, Niles, IL 60714-4608, USA
Phone: 847-600-2000 US Fax: 847-600-1212 Int'l Fax: 847-600-6446

Europe, Middle East, Africa:
Shure Europe GmbH, Phone: 49-7131-72140 Fax: 49-7131-721414

Asia, Pacific:
Shure Asia Limited, Phone: 852-2893-4290 Fax: 852-2893-4055

www.shure.com
www.shure.co.jp

©2018 Shure Incorporated

HIBINO

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12

TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881

http://www.hibino-intersound.co.jp/

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 価格には、配送や設置、使用済み製品の引き取りにかかる費用は含まれておりません。
- 製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
- このカタログの掲載内容は2018年11月現在のものです。仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- このカタログに記載されている商品名、会社名等は、各社の登録商標または商標です。